

# ごみ減量大作戦

～続行中～

No. 24

連絡先 エコけん事務局 ☎ 092-943-0129

発行責任者 清水佳香

## 8月のプラスチック回収は



# お休みします。

次回は 9/9 (日) \*第2日曜日 通常通り

## 7月8日 (日) プラスチック回収報告

参加世帯数						回収量	カンパ
2 7 6						74ふくろ (623.5kg)	24,252円
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	その他(%)		(搬入費用2,451円)
30	7	8	20	21	14		

ご協力ありがとうございました。

## カンパ金の使い方について



カニイ感謝します!



私たちの活動を継続していくためには、「資金と人手」が必要です。市の搬入協力開始後、改めて皆様からのカンパ金の使い方を検討しました。その結果をご報告します。

1. ニュースや資料等の発行費
2. 支援打ち切りに備えたプラ回収積立金
3. 調査研究費用\*

『活動支援金』と  
受けとめています。  
(これからもご協力お願いします。)

※『調査研究費用』とは？

より新しく正確な情報取得のために用い、その結果はニュース等に反映させます。またこれまでに集めた情報の貸し出しもしたいと思います。(現在、整理中)

### すぐ貸し出しできる資料

- ・ダイオキシン類高速高精度計測技術説明資料 (三菱重工業)
- ・省エネ授業の進め方 (冊子・ビデオ)

貸し出しは、プラ回収時に申し込まれるか、事務局へお電話下さい。

# Slim ザ. ゴミ!

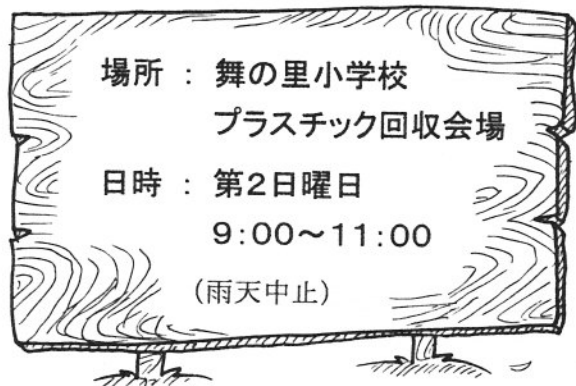
舞小で

## フリーマーケットをやっています!

舞の里小学校の校長先生のご理解を得、プラスチック回収の横でフリーマーケットをしています。(4回実施)

### —フリーマーケット開催の目的—

- ① 必要な人に使っていただくことで利用者を変えたリユースになる。
  - ② 不要品が、有用品へ。
  - ③ おしゃべりしながら、楽しい地域づくりを!!
- } ごみ減量



### あなたも参加しませんか!

#### エコけんフリマへ物品寄付くださる方

#### “自分で店を出そう”という方

##### ◆ 受付物品

##### ① 学用品

〈例〉制服、体操服、水着、カバン  
文具、笛、体育館シューズ など

##### ② 石鹸、洗剤、タオル

(未使用品)

※ 当日お持ちください。



◆ 日時、場所など条件はエコけんフリマと同じ。

◆ 場所代は、もちろん必要なし。

◆ 内容は自由。でも、後かたづけを含め責任を持ってお願いします。

※ お問い合わせは、プラ回収会場、または事務局へ。



この頃 よく耳にする

# ISO14001ってなんだろう？

ISO14001とは、環境への影響（負荷）を改善する体制づくりに関する国際的なとりきめのことで、「環境マネジメントシステムの国際規格」と呼ばれています。ISO14001の認証を取得することは“積極的に環境問題に取り組んでいる団体”とお墨付きをもらったこととなります。

取得件数：H.13.6.1 現在 6138

環境問題への取り組みは、今や社会的な責任。そのような認識のもと、企業や地方自治体では、この規格の認証を得ようとする動きが広がってきました。

私たちの身近なところでは、次のような企業や自治体を取得しています。

## 企業

西友（全店舗・全事業所）  
エフコープ生活協同組合  
古賀環美サービスセンター



## 自治体・その他

水俣市  
朝倉郡杷木町（申請中）  
三重高等学校、四日市大学



## 取得のメリット

- ① むだ省かれ、経費節減になる。
- ② 個人の環境に対する意識が生まれ、団体が活性化する。
- ③ 信用のおける団体と認められる。

## 取得のデメリット

取得のためには、まず、環境に取り組む規格・経営方針を文章化します。これを第三者の審査機関に提出し、審査を受けます。それが終わると、書かれていることが実際に行われているか、審査員がチェック。通常、審査は1年前後かかります。費用は、おおよそ100万円（50人規模の団体）から300万円（大企業）かかるようです。

また、認証を受けた後も、更新するためには、右肩上がりの実績を作ることを要求され、年数を積むと、目標達成がだんだん難しくなります。

◆ 最近では、環境に配慮した経営など、自社で基準を設け実行している企業もたくさんあります。くわしくは、次号で紹介します。



《参考資料》省エネ家族（省エネルギーセンター刊）ダカーポ 470号  
ホームページ「ISO14001取得事業所一覧」

# 水物語

前回、「古賀市では 公共下水道の完備されている地区以外の農業地域や住宅は、農業集落排水処理設備や合併浄化槽を使って 排水をきれいにしている」と記載しておりましたが、「① 農業集落排水処理施設は、今現在、取り組みを進めている過程にある。② 合併浄化槽設置（約2800戸）と公共下水道利用世帯を除く、全市内の3割にあたる約5800戸の生活排水（し尿以外）は、未処理のまま 河川へ流されている」という2点のご指摘をいただきました。ここにお詫びと訂正をいたします。

河川や下水道施設のバクテリア負荷を小さくする家庭排水のポイントを教えてもらいました。

油系、栄養系は生き物の体を通す — まずは私たちが残さずきれいにいただきます。

(ワンちゃんに食べてもらう手もあります)

野菜くずやゴムベラで集めた汚れは、生ごみとしてコンポストやごみけし君へ。米のとぎ汁は、庭木へ。



塩類は海へ返す — できるだけ環境に負荷を与えないよう、石鹼や洗剤の使用量も減らしましょう。そのための便利グッズもいろいろあります。友人が使っているのは『洗濯ボール』。タオルの洗濯については、水だけで充分になり、石けんも水も時間もすごく減ったそうです。私は、食器洗いにスポンジをやめ、市販のアクリル製ネットを使っています。ゴシゴシ、力を入れ易く乾きも速い優れものです。水の使用量もぐっと少なくなりました。

次回こそ「リサイクルと水について」考えられそうです。お楽しみに。

あいママ

## ～事務局より～

- 7/11 (水) 下水道課の方も一緒くださり、古賀市の下水道処理施設の見学に行きました。公共下水の処理をしている、花鶴川河口にあたる終末処理場、それ以外のし尿処理をしている、工業団地内の海津木苑です。たいへん有意義でした。関係職員の方には心よりお礼申し上げます。

【次回定例会】 8月1日(水) 11:00~13:00 古賀市 舞の里5丁目集会所